「市松模様上の回転体」錯視

谷口史花 椎名乾平

早稲田大学

解説：

スライド１　市松模様の背景の上で歯車状のパターンを回転させる。市松模様が細かくなると回転速度が上がったように知覚される。

スライド２　市松模様の濃淡を変えると、濃い方が速く回転するように知覚される。

スライド３　一部分だけ観察する場合でも生起する。

錯視の機序は不明であるが、背景と歯車パターンが作り出す「ちらつき感」が関係しそうである。

連絡先：

谷口史花

〒169-8050　東京都新宿区西早稲田1-6-1

E-mail: fumikataniguchi@gmail.com